



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 九鬼 祐一郎

TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	28,748	7.6	1,318	23.4	1,316	21.7	543	34.3
2018年12月期第3四半期	26,709	0.3	1,720	8.6	1,681	8.9	827	19.7

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 630百万円 (20.8%) 2018年12月期第3四半期 796百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	25.27	25.14
2018年12月期第3四半期	38.56	38.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	25,914	9,728	37.5	450.76
2018年12月期	21,759	9,465	43.4	440.38

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 9,719百万円 2018年12月期 9,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		22.00	22.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2. 2018年12月期 期末配当金の内訳: 普通配当 20円00銭 東証第一部上場記念配当 2円00銭

3. 2019年12月期(予想)の期末配当金には、創業40周年に対する記念配当2円00銭が含まれております。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,100	10.9	1,878	16.9	1,879	14.2	793	13.0	36.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	22,264,130 株	2018年12月期	22,166,130 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2019年12月期3Q	701,666 株	2018年12月期	701,616 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期3Q	21,512,947 株	2018年12月期3Q	21,456,705 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、所得・雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の動向と政策に関する不確実性の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、長引く人手不足による人件費の上昇や原材料価格の上昇等により、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、商品力強化のためのメニューの見直し、テレビCMの放映やアプリでのクーポン配信による販売促進活動の強化、凡事徹底によるお客様満足度の向上等を行い、「まいどおおきに食堂」を中心として、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かっぼうぎ」、「つるまる」をはじめとする全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高287億48百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益13億18百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益13億16百万円（前年同期比21.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億43百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」「神楽食堂 串家物語」「手作り居酒屋 かっぼうぎ」「つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心としたテレビCMの実施やアプリでのクーポン配信等の販促活動、季節フェアキャンペーンの推進、既存店舗の美装改装等を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

また、収益力が向上している「さち福や」、「えびのや」、「かつ満」等の立地を厳選した出店にも注力してまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は272億37百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は23億63百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。

今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらに、メディア戦略を強化し、ブランド認知度を向上させることで、さらなる集客・売上の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は15億11百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は10億27百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

当社グループの2019年9月末時点の店舗数は891店舗（直営店（国内）537店舗、直営店（海外）5店舗、F C店（国内）346店舗、F C店（海外）3店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 （国内）	直営店 （海外）	F C店 （国内）	F C店 （海外）	合計
まいどおおきに食堂	143	5	265	-	413
神楽食堂 串家物語	86	-	28	-	114
手作り居酒屋 かっぱうぎ	33	-	7	-	40
つるまる	50	-	7	3	60
その他	225	-	39	-	264
合計	537	5	346	3	891

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は41億54百万円増加し、259億14百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から9億33百万円増加し、固定資産は32億21百万円増加しております。

流動資産が増加した主な理由は、借入れの実行に伴う現金及び預金の増加13億32百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産等の増加11億99百万円、無形固定資産の内、株式会社グレートイースタンの株式取得等ののれんの増加16億89百万円、投資その他の資産の内、敷金及び保証金の増加1億19百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して38億91百万円増加し、161億86百万円となりました。これは主に借入れの実行による借入金の増加36億95百万円、長期未払金の増加1億26百万円、資産除去債務の増加1億43百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により、97億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期の業績予測につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績を踏まえ、下記のとおり修正いたしました。

2019年12月期通期の連結業績予想の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益 (注)
前回発表予想（A） （2019年2月14日）	40,100	2,500	2,420	1,185	55円21銭
今回修正予想（B）	40,100	1,878	1,879	793	36円86銭
増減額（B－A）	0	△622	△541	△392	－
増減率（％）	0.0	△24.9	△22.4	△33.1	－
（ご参考）前期実績 （2018年12月期）	36,145	2,259	2,189	911	42円50銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,921	3,253
売掛金	364	455
たな卸資産	206	186
前払費用	401	366
預け金	1,314	875
その他	194	199
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,403	5,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,847	16,578
減価償却累計額	△6,548	△7,371
減損損失累計額	△884	△888
建物及び構築物(純額)	7,414	8,318
工具、器具及び備品	5,180	5,611
減価償却累計額	△4,028	△4,421
減損損失累計額	△165	△198
工具、器具及び備品(純額)	985	991
土地	1,411	1,449
建設仮勘定	210	413
その他	277	358
減価償却累計額	△241	△274
その他(純額)	36	83
有形固定資産合計	10,057	11,257
無形固定資産		
のれん	93	1,782
その他	55	72
無形固定資産合計	148	1,855
投資その他の資産		
投資有価証券	1,041	1,095
関係会社株式	605	633
繰延税金資産	537	569
敷金及び保証金	4,146	4,265
その他	833	923
貸倒引当金	△14	△22
投資その他の資産合計	7,149	7,464
固定資産合計	17,355	20,576
資産合計	21,759	25,914

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,559	1,532
未払金	1,649	1,650
未払費用	512	527
資産除去債務	2	8
賞与引当金	66	24
株主優待引当金	91	85
未払法人税等	285	204
未払消費税等	125	141
短期借入金	100	200
1年内返済予定の長期借入金	2,045	2,554
その他	118	140
流動負債合計	6,556	7,069
固定負債		
長期借入金	4,369	7,456
リース債務	25	56
資産除去債務	1,010	1,146
預り保証金	300	298
長期未払金	-	126
繰延税金負債	32	33
固定負債合計	5,738	9,116
負債合計	12,294	16,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,135	2,190
資本剰余金	2,017	2,071
利益剰余金	6,283	6,355
自己株式	△876	△876
株主資本合計	9,560	9,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△110	△24
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	△108	△21
新株予約権	12	8
純資産合計	9,465	9,728
負債純資産合計	21,759	25,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	26,709	28,748
売上原価	9,367	10,137
売上総利益	17,342	18,611
販売費及び一般管理費	15,621	17,293
営業利益	1,720	1,318
営業外収益		
受取利息	3	3
賃貸収入	28	28
施設利用料	-	60
その他	22	17
営業外収益合計	54	110
営業外費用		
支払利息	30	36
持分法による投資損失	32	25
賃貸収入原価	21	21
その他	9	27
営業外費用合計	93	111
経常利益	1,681	1,316
特別利益		
固定資産売却益	2	0
新株予約権戻入益	1	-
受取保険金	-	9
特別利益合計	3	9
特別損失		
減損損失	184	215
固定資産除却損	38	38
店舗解約損	32	18
投資有価証券評価損	35	70
その他	2	5
特別損失合計	294	348
税金等調整前四半期純利益	1,390	978
法人税等	563	434
四半期純利益	827	543
親会社株主に帰属する四半期純利益	827	543

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	827	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	86
為替換算調整勘定	△2	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	13
その他の包括利益合計	△31	86
四半期包括利益	796	630
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	796	630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、株式会社グレートイースタンの発行済株式を全て取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、PT MULIA SUKSES PERDANAの出資持分の全てを譲渡したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,335	1,373	26,709	—	26,709
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	25,335	1,373	26,709	—	26,709
セグメント利益	2,655	939	3,594	△1,874	1,720

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,874百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては184百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,237	1,511	28,748	—	28,748
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	27,237	1,511	28,748	—	28,748
セグメント利益	2,363	1,027	3,390	△2,072	1,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,072百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、株式会社グレートイースタンを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「直営事業」セグメントにおいて1,344百万円増加しております。

なお、当該セグメント資産の金額は、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算出された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては215百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社グレートイースタンを連結子会社としたことに伴い、のれんのコストに重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間の「直営事業」セグメントにおいて1,698百万円であります。

なお、のれんのコストは、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算出された金額であります。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2019年12月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	22,266,130株
株式分割により増加する株式数	22,266,130株
株式分割後の発行済株式総数	44,532,260株
株式分割後の発行可能株式総数	96,000,000株

(注) 上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

③ 分割の日程

基準日公告日	2019年12月16日
基準日	2019年12月31日
効力発生日	2020年1月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	19円28銭	12円63銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	19円19銭	12円57銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規程に基づき、2020年1月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>48,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>96,000,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2020年1月1日

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2020年1月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第11回新株予約権	2015年11月20日	1,406円	703円
第12回新株予約権	2015年11月20日	1,321円	661円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。